

セミナー企画：システム監査実践セミナー

狙い

システム監査についての理解を深めるためには、システム監査の進め方を身につける必要があります。そのためには、システム監査の体験が必要ですが、組織体の活動の中でシステム監査を経験できる場面は多くありません。本セミナーは、セミナー「システム監査の効果的進め方」を受講され次のステップに進みたい方、システム監査の知識はもっているが実体験が少ない方などを対象に、システム監査の一連の流れを体験し、システム監査についての理解を深めていただくことを狙いとしています。

また、システム監査の手法であるチェックリストやヒアリングなどは、業務活動の現状調査や問題分析などの場面でも応用できるものであり、そうした手法を身につけていただくことも狙いとしています。

内容

事例を題材にして、参加者の皆さんにシステム監査の一連のプロセス(計画策定、調査、調査結果の分析、報告とフォローアップ)を体験していただきます。参加者を数人ずつのグループに分け、そのグループが監査チームとして一連の活動を行います。講師は、事例の説明、作業の進め方の説明、参加者グループが作業を行っていく中での助言、参加者グループの作業結果に対する講評などを行います。

対象者

システム監査部門のシステム監査人：システム監査の計画、実施、報告を役割としています。

情報化部門・業務部門の管理者、担当者：システム監査を受けること、監査結果に基づいて改善活動を行うことを役割としています。

形式

システム監査の実務のポイントについての講義
グループ別演習、演習結果に対する講評

時間

6時間/1日 x 3日

その他

セミナー「システム監査の効果的進め方」を受講していること、またはシステム監査についてそれと同等の知識を有していることを前提とします。

『情報システム監査実践マニュアル』(工業調査会)を補助テキストとして使用します。